地域リハビリテーション

1. 地域リハビリテーションとは

まず「地域リハ」の目的を押さえる

- 機能回復だけを目的にしない
- ADL・IADL、社会参加まで考える
- 生活環境・家族・地域資源を活用する
- 医療・介護・福祉・地域が連携する

国試POINT！！

「生活」「参加」「地域」「連携」「環境」

→ 本人の生活目標から支援を考える

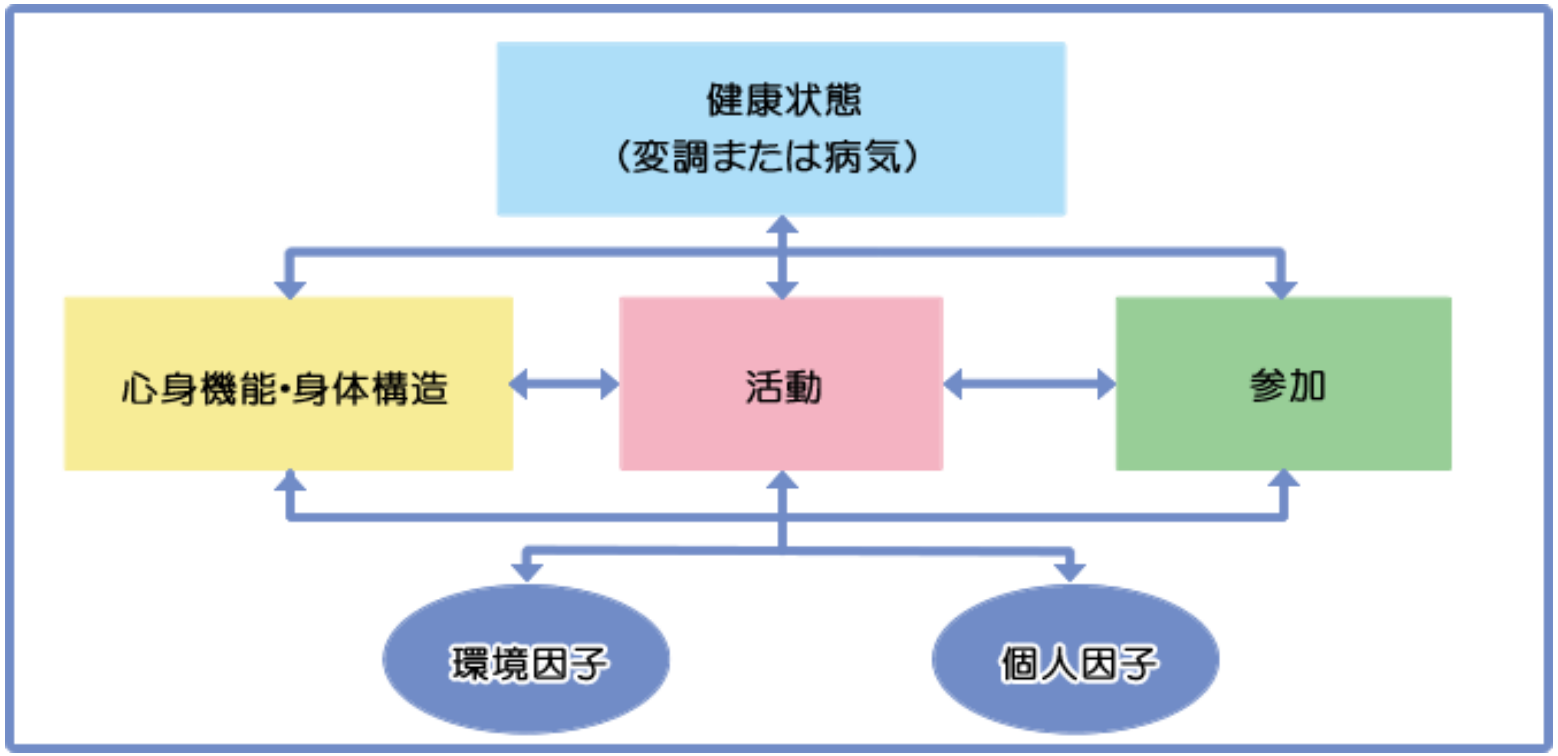
地域で、その人らしく生活することを支援する

2. 「治す」から「暮らす」へ

医療機関
治療・機能回復

生活期
生活の再構築

地域
参加・社会生活



国試POINT！！：『できるADL』だけでなく、『しているADL』＝実際の生活場面をみる

3. 地域リハの対象者と支援の場

対象者

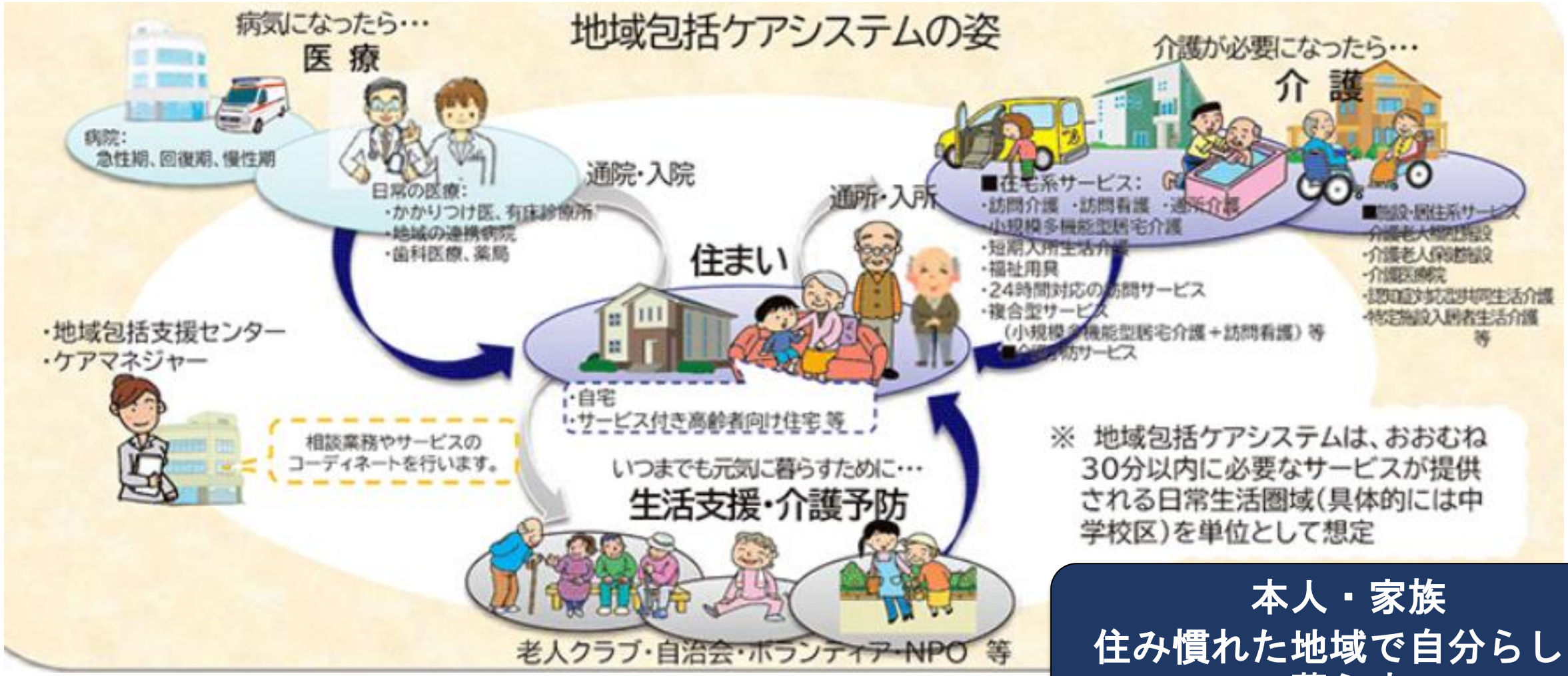
- 高齢者
- 脳卒中・脊髄損傷などの中途障害者
- 身体・精神・知的障害のある人
- 障害児・発達障害のある人
- 難病患者
- がん・心疾患・呼吸器疾患などの患者

支援の場

- 自宅
- 通所施設
- 入所施設
- 学校
- 職場
- 地域活動・社会

国試POINT！！：地域リハの対象は「高齢者だけ」ではない

4. 地域包括ケアシステム



本人・家族
住み慣れた地域で自分らしく暮らす

国試POINT！！：医療・介護・予防・住まい・生活支援を**一体的**に考える

5. 介護保険制度とリハビリテーション

第1号被保険者	第2号被保険者	保険者
65歳以上 要介護・要支援認定	40～64歳 医療保険加入者 ＋**特定疾病**	市町村・特別区 （原則）

リハ関連：訪問リハ／通所リハ／介護老人保健施設／福祉用具／住宅改修

国試POINT！！

第2号被保険者は「40～64歳なら誰でも介護保険サービス」ではない。

特定疾病による要介護・要支援状態などの要件がある。

6. 障害福祉サービスと地域生活

介護給付

- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 生活介護
- 短期入所
- 施設入所支援

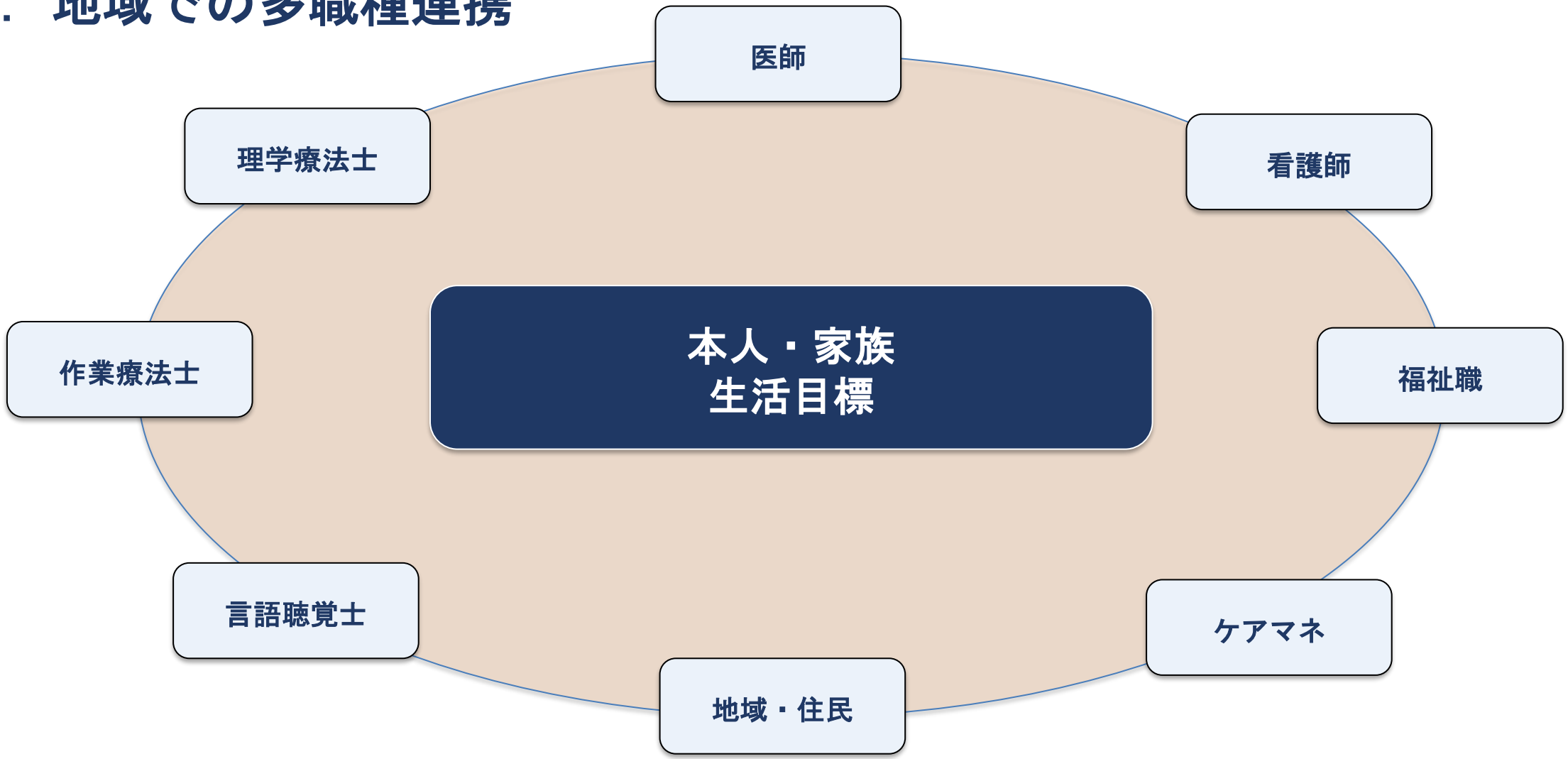
訓練等給付

- 自立訓練
- 就労移行支援
- 就労継続支援
- 共同生活援助

地域生活の目標：生活 ＋ 住まい ＋ 就労 ＋ 社会参加

国試POINT！！：「就労」「社会参加」もリハビリテーションの重要な目標

7. 地域での多職種連携



国試POINT！！：本人・家族・多職種・地域を含めたチームで支援

8. 地域におけるOT・PTの役割

PT：移動・身体機能・動作

- 歩行・起居・移乗
- 筋力・バランス
- 転倒予防
- 運動・身体活動

OT：生活・作業・社会参加

- ADL・IADL
- 家事・趣味
- 就労・学校生活
- 福祉用具・住宅環境

共通する視点：『その人が地域で何をしたいのか？』

国試POINT！！：　身体機能 → 活動 → 参加　まで確認する

9. 国家試験対策： ○× 問題

まず自分で答えてから、次のスライドで確認

① 介護保険の第1号被保険者は40歳以上の者である。
② 介護保険の保険者は市町村および特別区である。
③ 第2号被保険者は40〜64歳の医療保険加入者である。
④ 地域リハでは身体機能の改善のみを目標とする。
⑤ 地域包括ケアでは医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に考える。

10. 解答・解説／国試で押さえるポイント

①×	第1号被保険者＝65歳以上
②○	保険者＝市町村・特別区（原則）
③○	第2号＝40～64歳の医療保険加入者。特定疾病等の要件あり
④×	機能だけでなく活動・参加・環境までみる
⑤○	5要素を一体的に考える

最重要キーワード

①生活　②参加　③ICF　④地域包括ケア　⑤介護保険
⑥障害福祉　⑦多職種連携　⑧環境調整　⑨社会参加　⑩本人中心